

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	檜原 弘樹	法人・事業所の特徴	郊外の田園に立地しているため、自然豊かであり、季節感を感じることができます。当法人の福祉理念「あなたらしさいつまでも」を念頭に利用者の過去の生活歴や嗜好などのアセスメントを活かした活動提供、及び、自立支援に力を入れています。また、2023年よりBLGにも取り組んでいます。併設の認知症対応デイサービスとグループホーム合同で、外出行事・趣味の会活動を通して交流しており、ニーズに合わせて、「デイサービス→小規模多機能→グループホーム」と移行がしやすい環境です。また、地域とのつながりにおいては、畑作業と一緒にいき、地域行事、奉仕活動に参加し、地域住民が気軽に声を掛けていただけるよう、馴染みの関係作りを目指しています。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 岡保きらめきハウス	管理者	水口 克之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	1人	1人	人	9人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	利用者、家族に寄り添い信頼関係を築き、ニーズの把握を行う。職員間で情報を共有し統一したケアを提供していく。「家族の会」を開催し、家族同士がなやみごとを話せるよう関係性を作る。	利用者を「知る」ために会話を大切にしておき、関わりをもち、良い関係性作りがされている。家族とは担当者会議以外にも、手紙、電話、連絡帳、送迎時での会話を通して安心して利用できるように務めた。また、介護度にこだわらず利用者、家族に合わせた柔軟なサービスを提供し、感謝の言葉を頂いた。地域包括センターや他事業所ケアマネジャー、地域の方からの新規相談を多く頂いた。	家族の会の開催が年に1度であったため、家族同士のつながりがうすい。	密にコミュニケーションをとり信頼関係を築き、問題・課題を迅速に解決していく事で在宅生活を維持できるよう支援する。家族会についてのアンケートを実施しニーズの把握を行う。興味を持てる内容や、時間等を工夫し開催回数を増やし家族同士の関係性を築く。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者の自立を促す環境作りを行う。また、安心して過ごせるよう6S（整理・整頓・清掃・清潔・躰・接遇）を実施し居心地の良い場所を提供する。	出来る事は自分で出来るよう、環境を整えることで自立した行動ができています。また、会話がしやすい環境を作ることで利用者同士のつながりが出来ている。利用人数が多い日はバタバタとした雰囲気になりやすいため配慮が必要である。	職員の業務上の会話がフロアで飛び交っており、利用者にとっては騒音である。	職員間での情報伝達や確認の方法を検討し、個々に合わせた居心地の良い場所作りをする。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>畑活動、奉仕活動、お祭り等を通して関係性を深める。また、地域の困りごとを把握し解決していく事で貢献する。</p>	<p>利用者、職員は奉仕活動、畑活動、お祭りに参加したことで顔なじみになり、地域との良い関係性ができている。小学校や企業へのオレンジサポーター養成講座やデイサービス等へ参加し認知症予防活動をおこない貢献している。</p>	<p>参加している職員がいつも決まっているので、より多くの職員が地域の方と関わりを持つと良い。</p>	<p>計画的な人員の確保をおこない活動に参加する職員を確保する。行事活動を通じて地域との関係性をより一層深めていく。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み</p>	<p>地域資源を活用し、在宅生活が継続できるように本人と地域との橋渡し役につとめる。</p>	<p>居宅、地域包括、医療連携室等各機関との連携を密に取り利用者や家族が安心して在宅生活を送れるように橋渡しを行う事が出来た。</p>	<p>地域ケア会議の開催を行い、本人が望む生活が送れるようより一層各機関との連携を図る必要があるように感じる。</p>	<p>担当者会議ではケアマネジャー、職員だけでなく医療、福祉用具も連携したケア会議の実施を行うことでより良いサービスの提供を実施していく。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>関係者からの意見を取り入れ迅速に改善対応し、より良い事業所を目指す。</p>	<p>運営推進会議において、地域の方やご家族から運営方法についての意見やきらめきの活動に対する良い評価を聞くことができた。</p>	<p>介護サービスについて分からない事があっても聞く機会が少ないので教えて欲しい。</p>	<p>介護保険サービスについて疑問点や分からない事が解消できるように勉強会の開催を行う。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>地域の防災訓練に参加し、福祉避難所としての機能を果たし地域全体の防災対策を実施していく。</p>	<p>防災訓練では、利用者と職員が避難手順を一緒に考え、概ねマニュアル通り実施出来た。きらめきの駐車場を使って地域の防災訓練を実施した。</p>	<p>事業所の消防訓練に地域の方は参加していないため、有事の際どのような協力が出来るのか分からない。</p>	<p>地域の方も参加して頂けるように告知し協力体勢を作る。</p>